

GWは地元を楽しめ!

もうすぐやって来るゴールデンウィーク! みなさんの御予定はもう決まりましたか? この「ゴールデンウィーク」。その名前の由来は、映画会社の大映が1951年のこの時期に上映した獅子文六原作の『自由学校』が大映創設以来(当時)最高の売上を記録し、正月映画やお盆映画以上の興行成績を残したので、この時期に多数の動員を呼び込もうと、当時の大映常務取締役であった松山英夫によって作成された宣伝用語。映画産業から生まれた言葉なので、NHKでは「ゴールデンウィーク」という言葉は使わず、「大型連休」と表現しています。そんな謂れの「ゴールデンウィーク」。今年は地元を楽しんでみませんか? 散歩にサイクリングで地元を探検したり、4月29日に開催される二子玉川のイベント「花みず木フェスティバル」「アート&マーケット」に参加したり、閉館間近の「山河の湯」で体を癒したり。是非、地元を楽しんでみてください!

兵庫島では 二子玉川「花みず木フェスティバル」

第31回 二子玉川 花みず木フェスティバル

平成25年 4月29日 [月:祝] 10:00am~4:30pm

特設会場: 兵庫島河川公園 (二子玉川駅徒歩3分)
サブ会場: 二子玉川商店街、二子玉川ライズ ガレリア
特設大会: 玉川高島屋S・C南館6階、二子玉川小学校
アート&マーケット: 二子玉川商店街
二子玉川イベント: 二子玉川ライズ ガレリア

協賛セール
参加店で300円お買上げ毎に抽選券1枚進呈
4/29花みず木フェスティバル兵庫島河川公園会場にて大抽選会を開催!

イベントのご紹介
模擬店、群馬県川場村特産品販売、神奈川県伊勢原市特産品販売、ハイ焼き窯焼き菓子販売、記念クオカードの販売、リサイクルフェア(フリーマーケット)、玉川警察署の防犯コーナー、玉川消防署の消防ふれあいコーナー、河川環境PRコーナー、お魚ポストコーナー、玉川ボランティアビューローコーナー、読書会コーナー、世田谷区防災PR・ポイ捨て禁止キャンペーン、環境美化運動、JTのひろえは街が好きになる運動

景品 特賞 [12本]
シブシブ 松清レストラン
1等 [24本] スズブレック Uee
2等 [48本] ラッセルハウス ミニプレッダー
3等 [96本] 花みず木フェスティバル (ぬいぐるみ)
4等 [312本] 花みず木フェスティバル (ぬいぐるみ)

開催期間 4月18日(水)~28日(木)
抽選日 4月29日(祝) 15:30頃
抽選会場 二子玉川ライズ ガレリア
景品引換期間 5月2日(水)~16日(木)
景品引換所 玉川高島屋 03-5700-6121
河川種菜園 03-5700-4439

GWの二子玉川の代名詞である「花みず木フェスティバル」が今年も開催されます。ライブに屋台と盛り沢山な内容です。雄大な多摩川から吹く風を感じながら朝から夕方までイベントを満喫してください。



< 昨年の花みず木フェスティバル >

二子玉川商店街では「アート&マーケット」

「花みず木フェスティバル」と同日、二子玉川商店街では青空アート&マーケット6が開催されます。このイベントは、世田谷および二子玉川地域の賑わいの創出に役立てつつ、東日本大震災復興支援を目的として開催されます。その内容は、以下の通り多種多彩! 29日は二子中がお祭りだ!

- (1) アーティスト・クリエイターによる、展示・パフォーマンス・ミニワークショップ。
- (2) 【ふれあい広場】アートマステージ 休憩処 など
- (3) 【ストリート】・シャッターアート・似顔絵ステージ・墨絵ライブペインティング・にこたマップ アートマラクガキ いろ色あゆぐるみ くもくもりもり 他
- (4) 【文化】二子玉川短歌ストラダ 砵線の走る頃 田奈ペーゴマ倶楽部 他
- (5) 【商店街各店】特別店頭販売 他 書ききれないほど盛りだくさんです。参加するしかない!

二子玉川商店街 花みず木アート&マーケット 2013

休日の商店街にアートが飛び出した! 見て、触って、楽しんで。街は高空ミュージアム!

4月29日(月祝) 11:00~18:00 昭和の日

どんな作品がでるかな

アートで伝えたいこと

二子玉川商店街アート&マーケット

www.facebook.com/futakoart/

主催: 二子玉川商店街振興組合、日本理化学工業株式会社、二子玉川小学校
協賛: 世田谷区立高等学校、自由が丘理化学工業株式会社、二子玉川地区まちづくり協議会、二子玉川1000年委員会
後援: 玉川町会、二子玉川商店街振興組合、二子玉川ライズ、二子玉川地区まちづくり協議会、二子玉川1000年委員会
協賛: キャラクター 二子玉川 ダルカーストレーション
〒158-0034 東京都世田谷区二子 1-1-1 アートコート二子玉川2F
Phone: 03-5797-5622 Email: post@fak.jp

*** いろはに刀サッチ#45「も」***
~ 門前の小僧習わぬ経を読む ~

「も」は、江戸では「門前の小僧習わぬ経を読む」これは、お寺の門の近くに住んでいる子供たちは、毎日のお寺のお経を聞いてしまうので、習ってないお経を知っているということから、ふだん見聞きしていると、いつのまにかそれを学び知ってしまう。環境が人に与える影響の大きいことのとえ。京では「餅は餅屋」これは、何事も専門家に任せるのが一番であるというたとえ。大阪は「桃栗三年柿八年」これは、芽が出て実がなるまでに、桃と栗は三年、柿は八年かかるということから、何事も成し遂げるまでには相応の年月が必要だということのとえ。どれもよく使いますよね。